

2025年3月期 第1四半期 決算説明資料



クオールホールディングス株式会社

2024年8月2日

東証プライム：証券コード 3034

The Prime Market of the Tokyo Stock Exchange
3034



報告セグメントの変更について

第一三共エスファの連結子会社化によって医薬品製造販売事業の規模が拡大したことに伴って、2025年3月期第1四半期より報告セグメントを変更

<変更の主なポイント>

- ① 事業活動の実態をより適切に表すため、セグメント名称を変更
- ② 情報開示を拡充することを目的として、「製薬事業」を新設
 （「医療関連事業」に従来区分していた医薬品製造販売事業を「製薬事業」に移管）

旧報告セグメント

保険薬局事業
医療関連事業



新報告セグメント

薬局事業	・保険薬局の経営
BPO事業	<ul style="list-style-type: none"> ・CSO事業 ※CSO:Contract Sales Organization の略 ・CRO事業 ※CRO:Contract Research Organization の略 ・医療系人材の紹介・派遣 ・医療系出版
製薬事業	・医薬品製造販売の運営

※BPO:Business Process Outsourcing の略

業績概要

過去最高の売上・営業利益/経常利益

連結業績

- ・ 第一三共エスファ株式保有割合51%のため、四半期純利益は増益であるものの、親会社株主に帰属する四半期純利益は減益
- ・ 第一三共エスファ連結子会社化に伴う会計基準の適用により、一過性の特別損失(段階取得に係る差損)を計上

薬局事業

- ・ 増収減益
- ・ 前期M&Aや新規出店、在宅/施設調剤の推進等により、受付回数増加
- ・ 一方で仕入れや人件費等の運営コストが増加
- ・ 調剤報酬改定に伴い6月から技術料単価が上昇

BPO事業

- ・ 増収大幅増益
- ・ 主力事業であるCSO事業、紹介派遣事業の規模が拡大
- ・ 営業分業化等の取組みで、薬剤師紹介派遣の成約数が特に増加

製薬事業

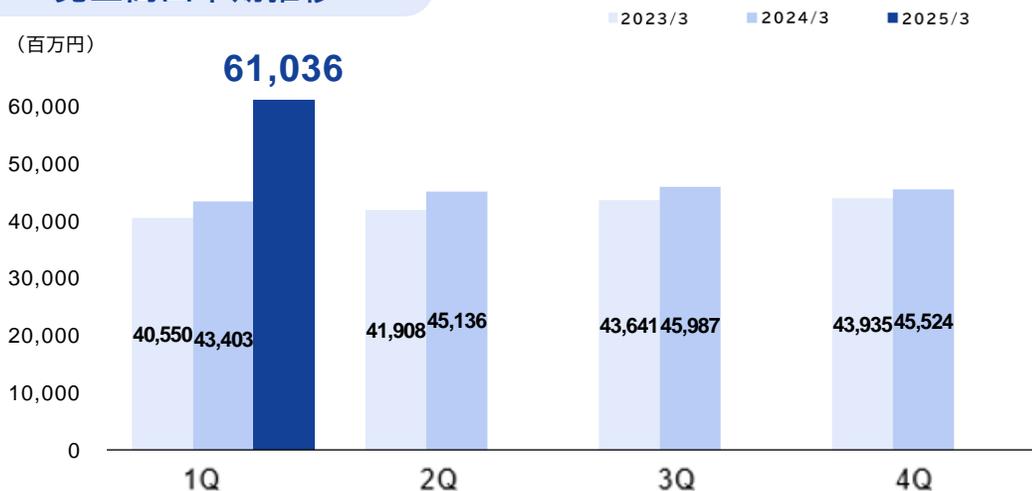
- ・ 第一三共エスファが2025年3月期第1四半期より連結子会社化(株式保有割合51%)
- ・ 供給状況が安定しているAG製品を主力にラインナップ

連結業績ハイライト

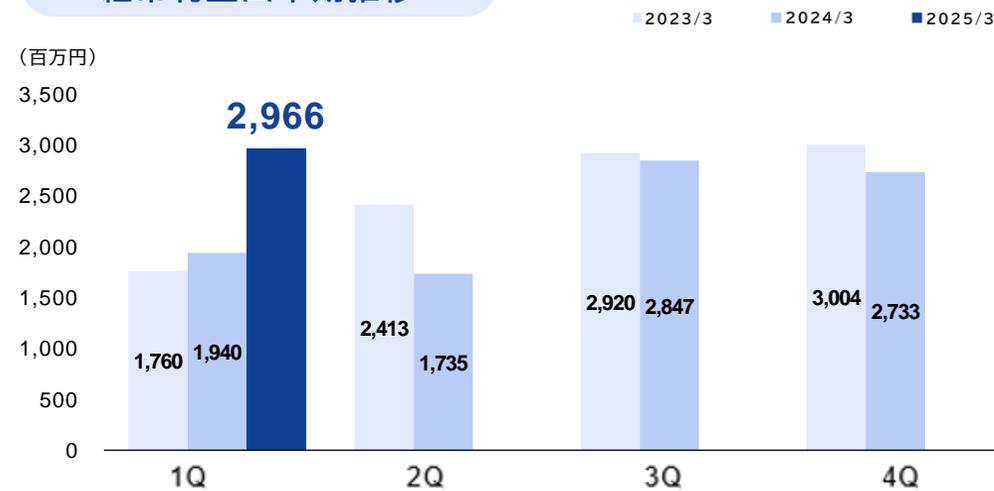


	2023年3月期 第1四半期 実績	2024年3月期 第1四半期 実績	2025年3月期 第1四半期 実績	増減額	増減率(%)
売上高	40,550	43,403	61,036	17,633	40.6%
営業利益	1,658	1,873	2,915	1,042	55.6%
経常利益	1,760	1,940	2,966	1,025	52.9%
四半期純利益	999	1,008	1,434	426	42.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,001	1,010	843	△ 167	△ 16.6%
1株当たり 当期純利益(円)	27.18	27.22	22.59	△ 4.63	△ 17.0%

売上高四半期推移



経常利益四半期推移



(単位:百万円)

	2025年3月期 第1四半期 計画	2025年3月期 第1四半期 実績	進捗
売上高	60,873	61,036	100.3%
営業利益	2,159	2,915	135.0%
経常利益	2,209	2,966	134.3%
四半期純利益	892	1,434	160.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	573	843	147.1%

連結損益計算書



(単位:百万円)	2024年3月期 第1四半期 実績	2025年3月期 第1四半期 実績	増減	増減率(%)
売上高	43,403	61,036	17,633	40.6%
売上原価	37,730	51,886	14,156	37.5%
売上総利益	5,673	9,149	3,476	61.3%
販管費	3,799	6,234	2,434	64.1%
営業利益	1,873	2,915	1,042	55.6%
利益率	4.3%	4.8%	—	—
経常利益	1,940	2,966	1,025	52.9%
利益率	4.5%	4.9%	—	—
四半期純利益	1,008	1,434	426	42.3%
利益率	2.3%	2.4%	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,010	843	△ 167	△ 16.6%
利益率	2.3%	1.4%	—	—

連結貸借対照表



(単位:百万円)	2024.3.31	2024.6.30	増減
流動資産	52,690	64,476	11,786
現金及び預金	27,282	29,682	2,399
固定資産	65,089	82,426	17,337
有形固定資産	16,281	16,544	262
無形固定資産	33,136	56,103	22,967
投資その他の資産	15,670	9,778	△ 5,892
資産合計	117,779	146,903	29,124
流動負債	38,823	63,381	24,558
固定負債	26,118	25,955	△ 162
負債合計	64,941	89,337	24,395
有利子負債	31,882	33,698	1,815
純資産	52,837	57,566	4,728
自己資本	52,789	53,172	383
負債純資産合計	117,779	146,903	29,124

	(単位:百万円)
流動資産	+ 11,786
受取手形、売掛金及び契約資産	+ 5,034
固定資産	+ 17,337
営業権	+ 13,321
のれん	+ 9,652
関係会社株式	△ 7,714
流動負債	+ 24,558
買掛金	+ 11,266
返金負債	+ 7,100
固定負債	△ 162
純資産	+ 4,728
非支配株主持分	+ 4,344
利益剰余金	+ 277
自己株式	△ 78

セグメント概況



(単位:百万円)	2024年3月期 第1四半期 実績	2025年3月期 第1四半期 実績	前年同期比 増減率
薬局事業売上高	39,547	41,081	3.9%
セグメント利益	2,422	1,630	△32.7%
利益率(%)	6.1%	4.0%	
BPO事業売上高	3,341	3,464	3.7%
セグメント利益	348	575	65.1%
利益率(%)	10.4%	16.6%	
製薬事業売上高	515	16,490	—
セグメント利益	△ 21	1,605	—
利益率(%)	—	9.7%	

※2025年3月期第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しており、2024年3月期第1四半期のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。なお、2024年3月期第1四半期のセグメント情報には、2025年3月期第1四半期より連結子会社化している第一三共エスファ株式会社の数値は含まれておりません。

セグメント情報

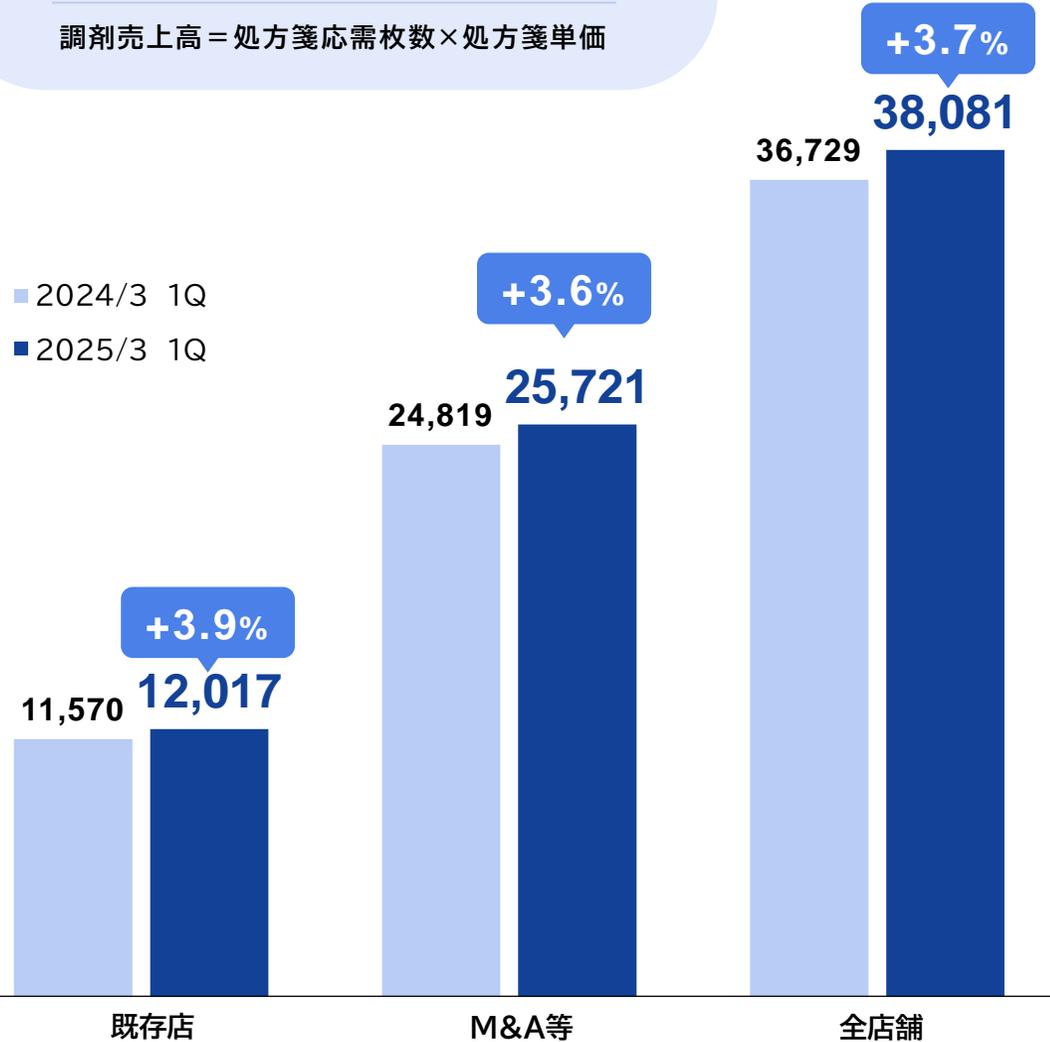
- ・増収減益
- ・前期に実施したM&Aや新規出店の寄与と在宅・施設調剤の推進等により、受付回数が増加
- ・一方で、仕入れや人件費等の運営コストが増加
- ・調剤報酬改定に伴い6月から技術料単価が上昇

(単位:百万円)	2024年3月期 第1四半期 実績	2025年3月期 第1四半期 実績	増減率(%)
売上高	39,547	41,081	3.9%
費用	37,141	39,479	6.3%
セグメント利益	2,422	1,630	△32.7%
主な報酬改定等	・地域支援体制加算 経過措置終了	・6月改定(従来は4月)	—

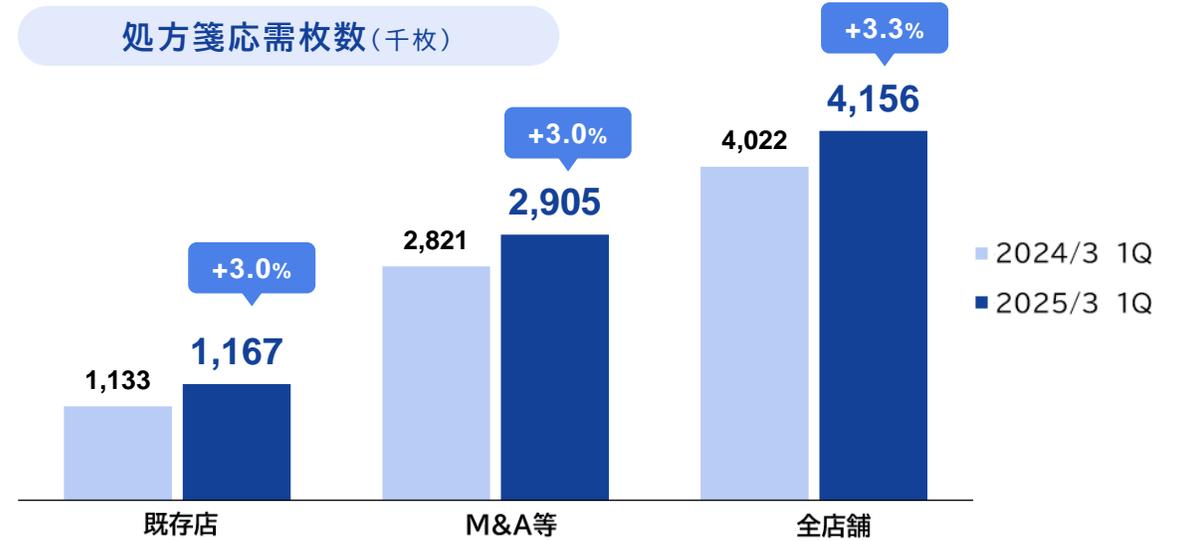
※ 2025年3月期第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しており、2024年3月期第1四半期のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。

調剤売上高(百万円)

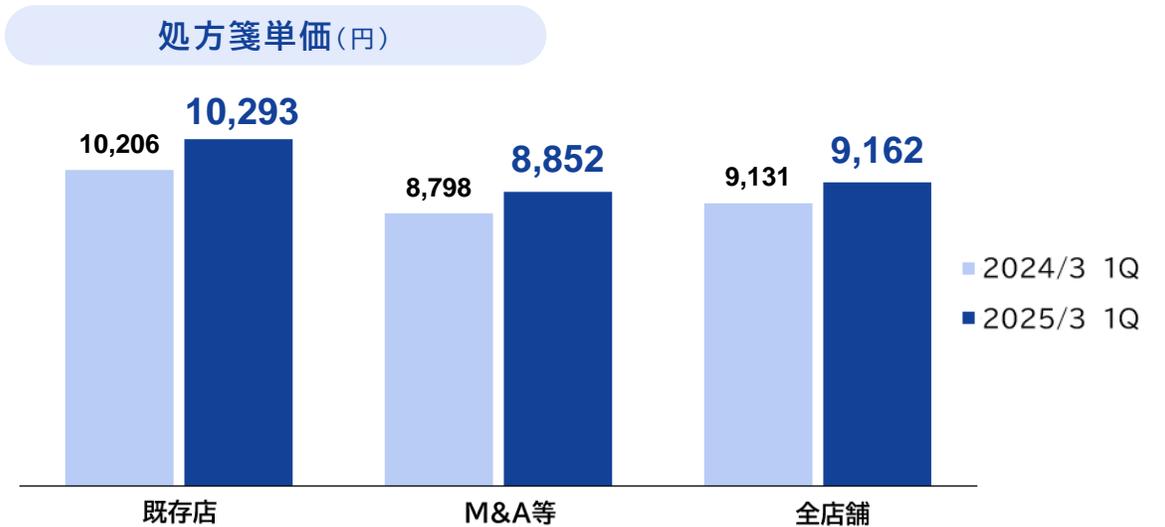
調剤売上高 = 処方箋応需枚数 × 処方箋単価



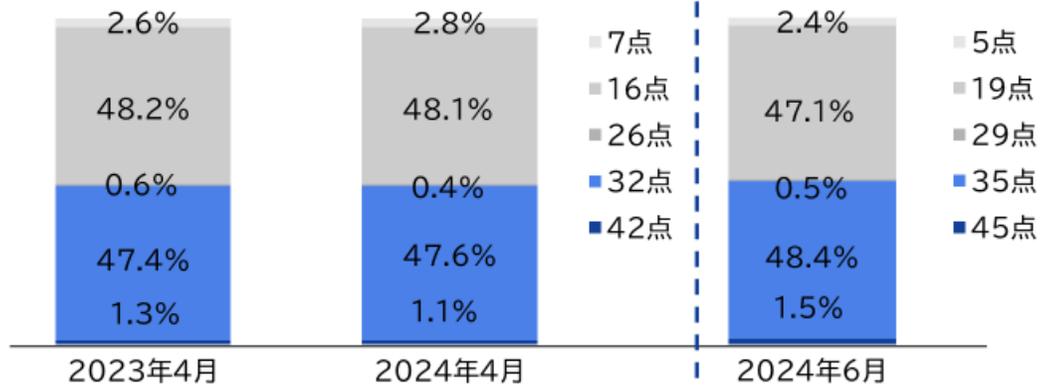
処方箋応需枚数(千枚)



処方箋単価(円)



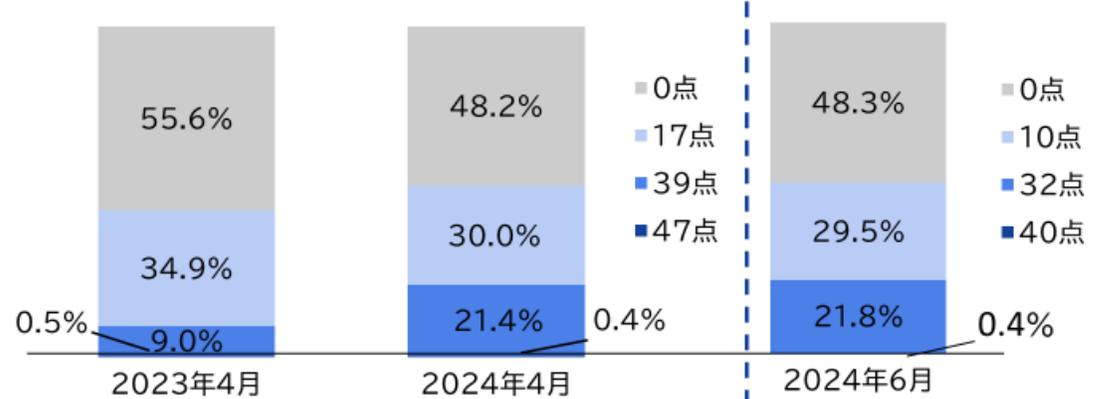
調剤基本料 店舗割合



薬局数 > 870 899 919

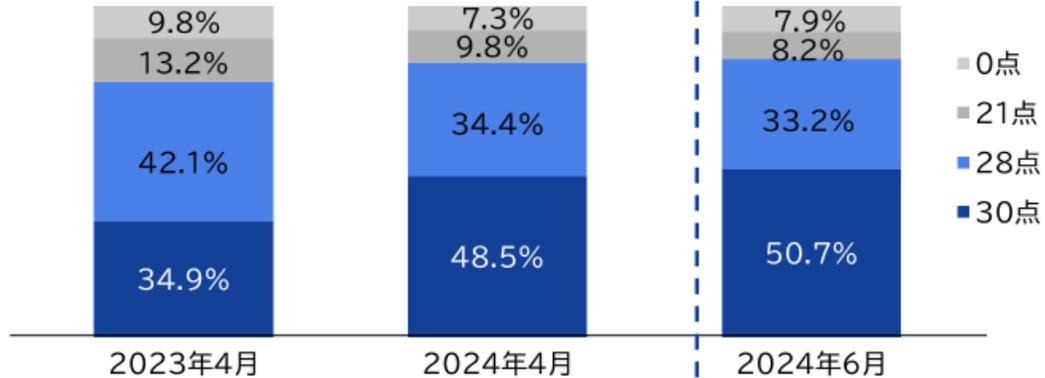
地域支援体制加算 店舗割合

(連結ベース)



薬局数 > 870 899 919

GE医薬品調剤体制加算 店舗割合



薬局数 > 870 899 919

GE変更率(数量ベース)

87.2%
(2024年6月)

新店・M&Aともに順調に店舗数増加

	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3	25/3 1Q
新店	20	17	18	16	15	21	16	9
M&A	14	50	39	18	15	48	17	18
売店	1	0	3	0	1	1	2	0

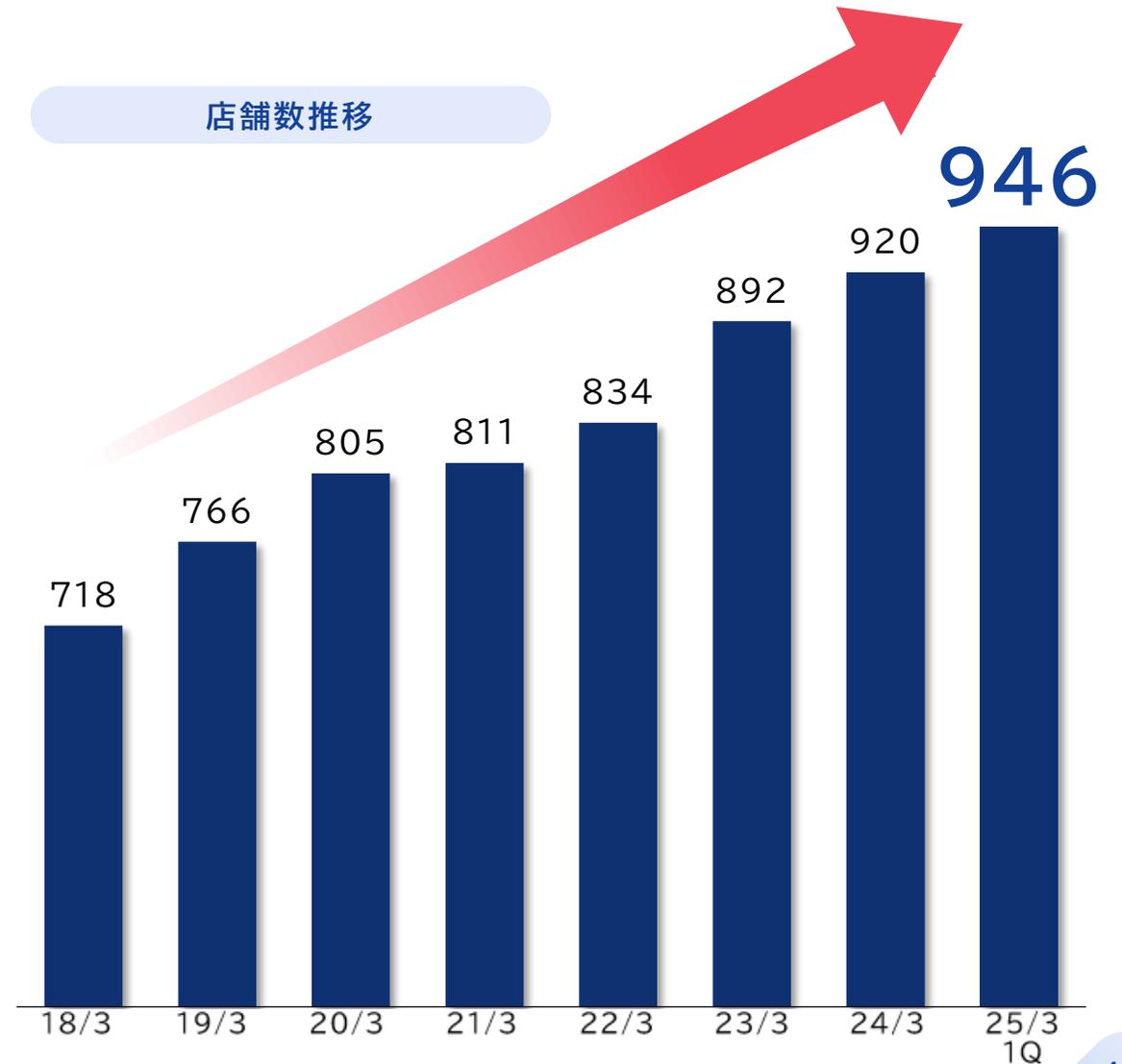
- 2024年5月に(有)ダイナ18店舗がグループ入り
- 第2四半期もM&Aでさらに店舗数が増加(2社、8店舗)



(美咲調剤薬局)



(目黒駅前薬局)



- ・増収大幅増益
- ・主力事業であるCSO事業、紹介派遣事業、出版関連事業の規模を拡大
- ・営業分業化等の取組みで、薬剤師紹介派遣の成約数が特に増加

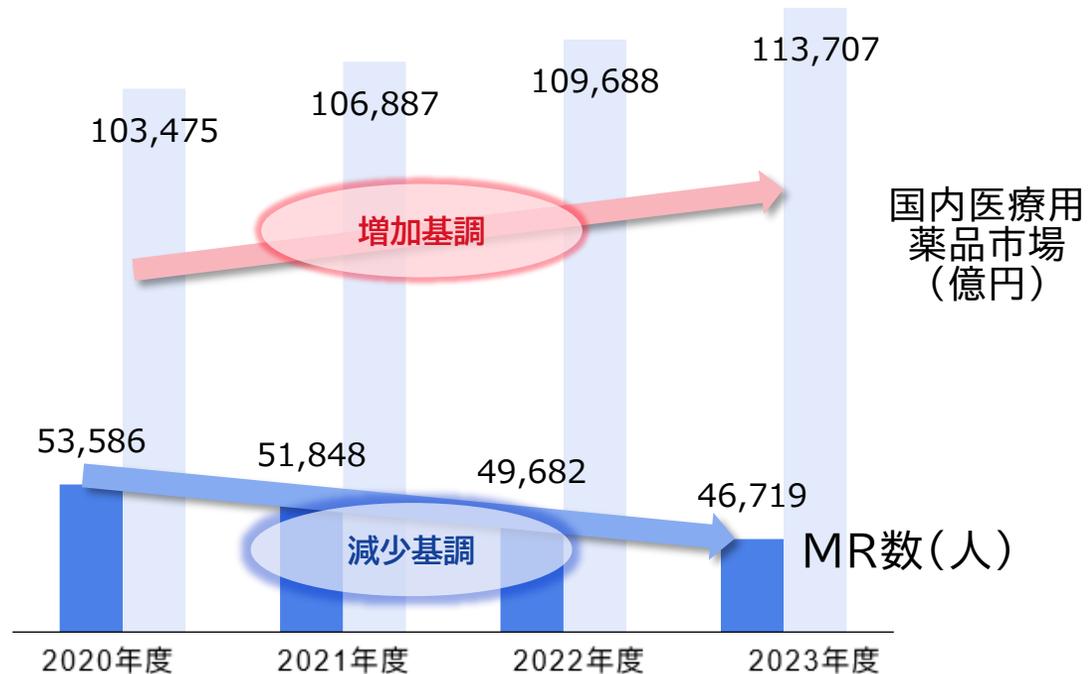
(単位:百万円)

	2024年3月期 第1四半期 実績	2025年3月期 第1四半期 実績	増減率(%)
売上高	3,341	3,464	3.7%
費用	3,084	3,216	4.3%
セグメント利益	348	575	65.1%

※ 2025年3月期第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しており、2024年3月期第1四半期のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。なお、2024年3月期第1四半期のセグメント情報には、2025年3月期第1四半期より製薬事業に移管された藤永製薬㈱の数値は含まれておりません。

- ・MR派遣需要は引き続き拡大

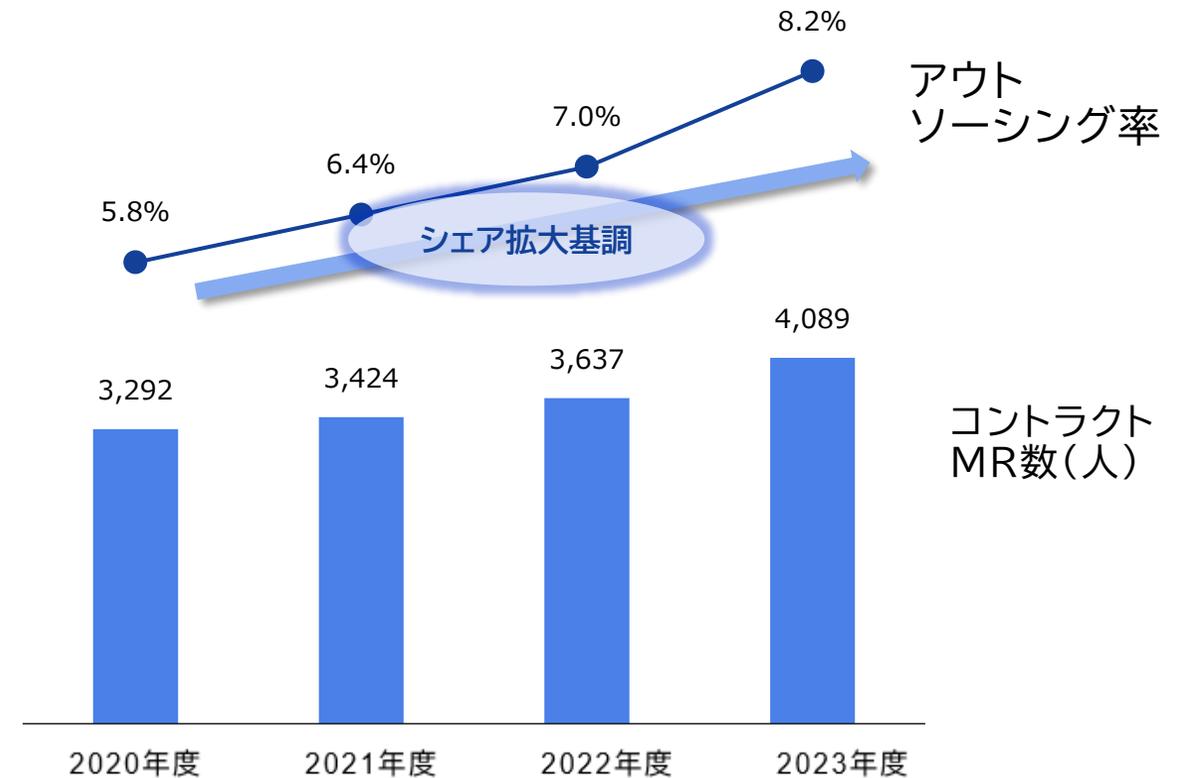
正社員MR数、医薬品市場



(MR認定センター「MR白書」、IQVIA国内医療用医薬品市場統計より)

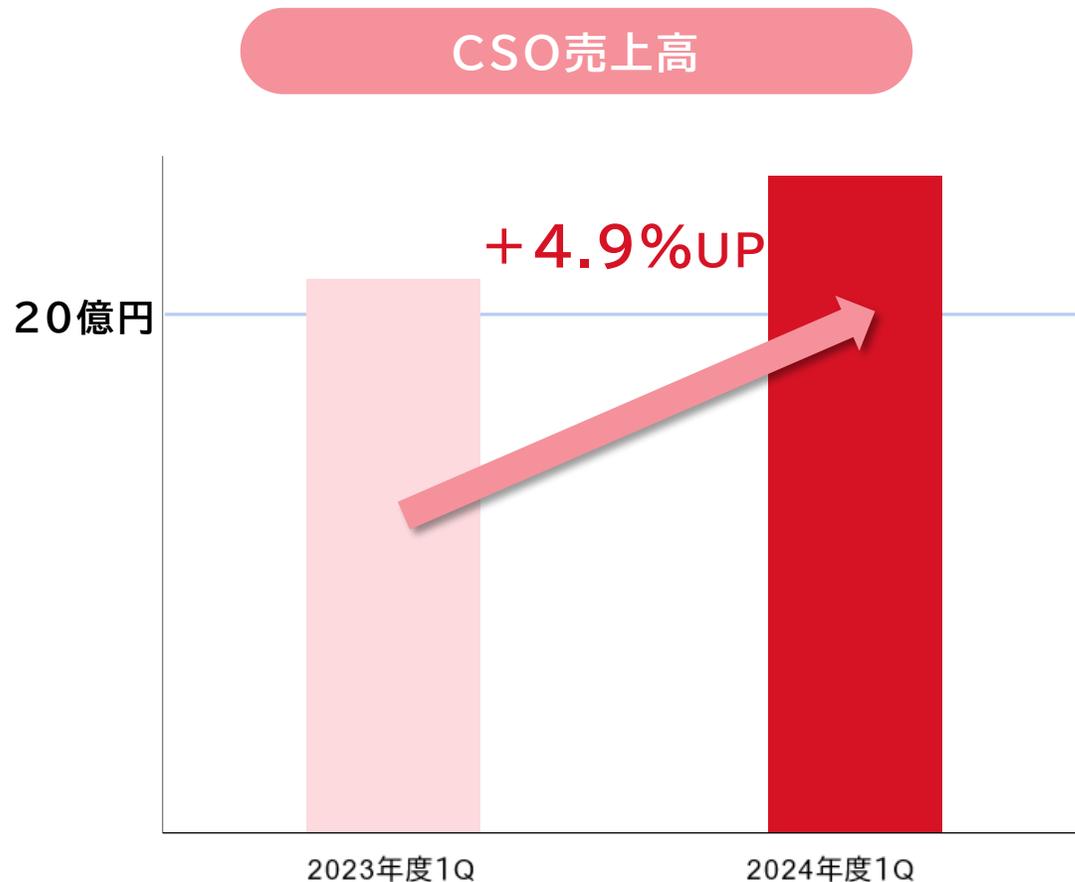
MRの生産性向上が求められる

CSO市場



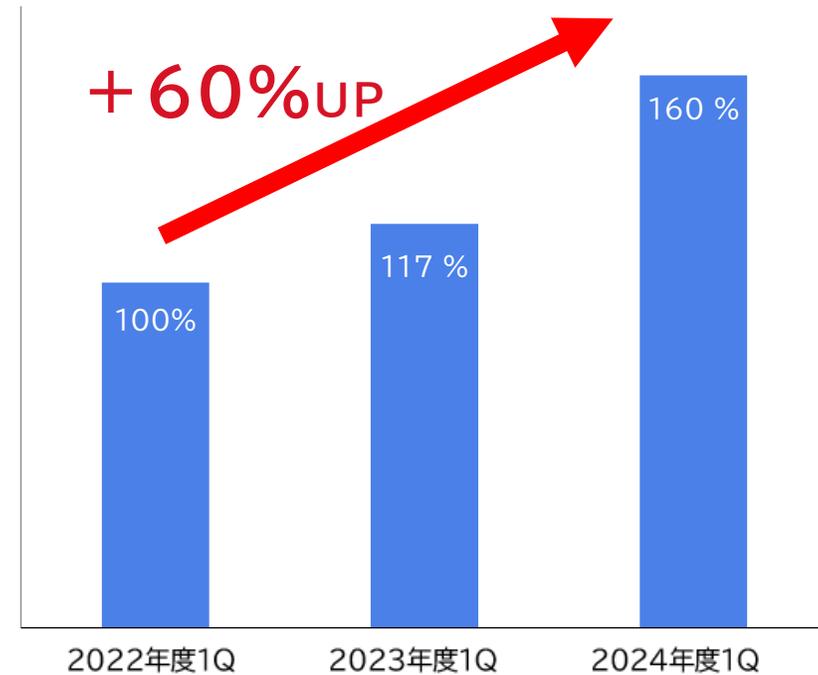
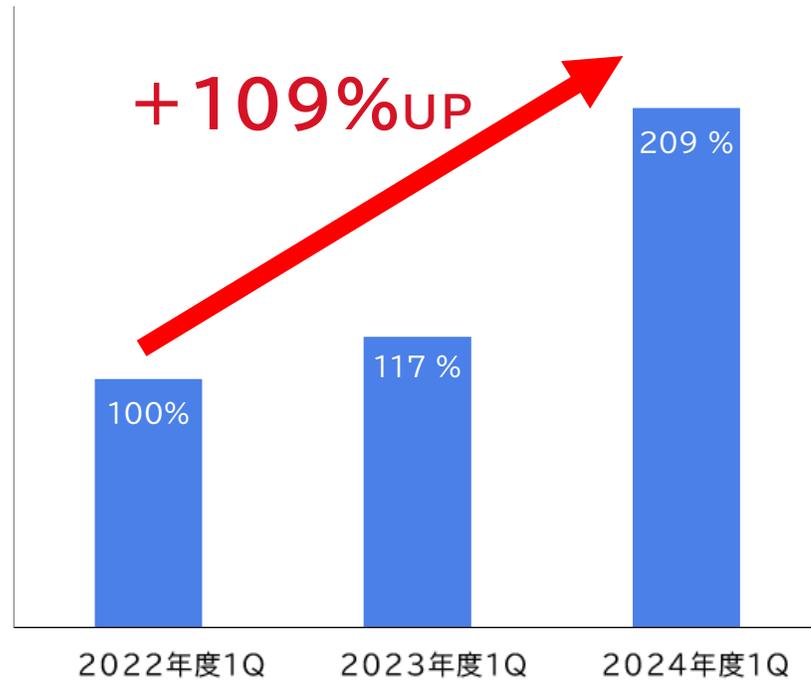
(日本CSO協会「わが国のCSO事業に関する実態調査」-2023年度版-より)

- ・コントラクトMRの派遣数が増加
- ・幅広い経験を持つ人財を採用し、専門領域MRの育成に注力



- ・営業分業化等の取組みで、薬剤師紹介派遣の成約数が特に増加

薬剤師 紹介派遣



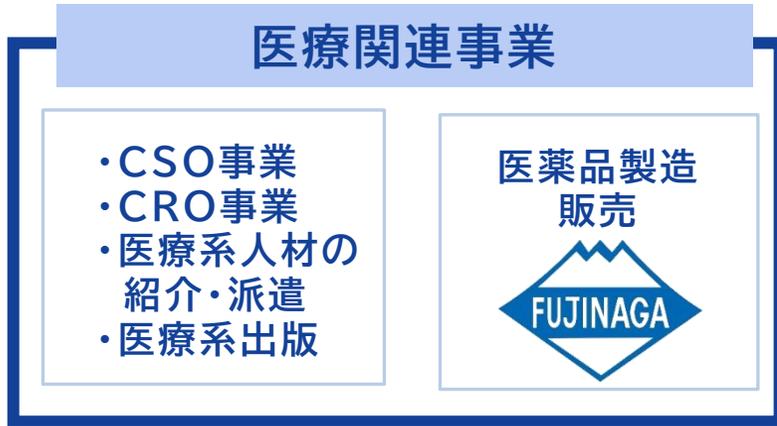
- ・第一三共エスファが2025年3月期第1四半期より連結子会社化(株式保有割合:51%)

(単位:百万円)

	2024年3月期 第1四半期 実績	2025年3月期 第1四半期 実績	前年同期比
売上高	515	16,490	—
費用	536	14,885	—
セグメント利益	△ 21	1,605	—

※ 2025年3月期第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しており、2024年3月期第1四半期のセグメント情報は、変更後の区分により作成したものを記載しております。なお、2024年3月期第1四半期のセグメント情報には、2025年3月期第1四半期より連結子会社化している第一三共エスファ株式会社の数値は含まれておりません。

セグメント変更による影響



2025年3月期第1四半期より



第一三共エスファ連結子会社化による業績への影響



第一三共エスファ株式会社

2025年3月期第1四半期より

連結子会社(保有割合51%)として売上利益に寄与

■株式取得の状況

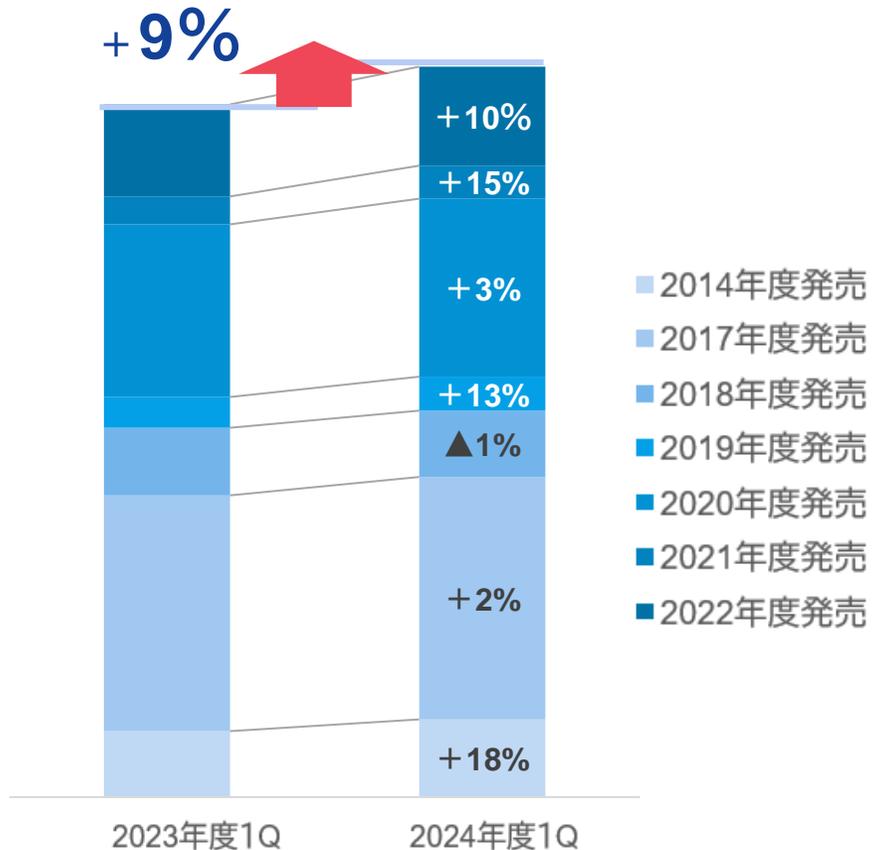
株式取得日	株式保有割合	会計上の取り扱い	売上寄与	経常利益寄与	純利益寄与
2023年10月1日	30%	持分法適用会社	—	30% (営業外収益)	30%
2024年4月1日	51% (+21%取得)	連結子会社	100%	100%	51%※

※残り49%は非支配株主に帰属する四半期純利益

AG既存製品の売上は堅調に伸長(前年同期比+9%)

幅広いラインナップ

AG既存製品 売上推移



発売年度	一般名	主な使用用途
2014年度	レボフロキサシン	抗菌剤
2017年度	テルミサルタン テルミサルタン/アムロジピン テルミサルタン/ヒドロクロロチアジド オルメサルタン ロスバスタチン	降圧剤 降圧剤 降圧剤 降圧剤 高コレステロール血症治療剤
2018年度	レボフロキサシン点滴 シロドシン ゲフィチニブ	抗菌剤 排尿障害改善薬 抗がん剤
2019年度	ビカルタミド アナストロゾール タモキシフェン	抗がん剤 抗がん剤 抗がん剤
2020年度	メマンチン エゼチミブ	アルツハイマー型認知症治療剤 高コレステロール血症治療剤
2021年度	ボルテゾミブ カルベジロール ピルシカイニド	抗がん剤 慢性心不全治療剤 不整脈治療剤
2022年度	アゾセミド フェブキソスタット	利尿剤 高尿酸血症治療剤

新製品 ジェネリック医薬品1成分2品目 売上好調

計画比 +11.8% (金額ベース)



製品名	薬効分類	先発品名
ゾニサミドOD錠 25mgTRE「DSEP」	パーキンソン病治療薬・ レビー小体型認知症に 伴うパーキンソニズム治 療薬(レボドパ賦活剤)	トレリーフ®OD錠25mg
ゾニサミドOD錠 50mgTRE「DSEP」	パーキンソン病治療薬 (レボドパ賦活剤)	トレリーフ®OD錠50mg

【IRお問い合わせ】

クオールホールディングス株式会社 広報部

TEL:03-6430-9060

FAX:03-5405-9012

E-mail:ir@qol-net.co.jp

お問い合わせページ:<https://www.qolhd.co.jp/inquiry/>

【免責事項】

本資料および参考資料の内容につきましては、株主・投資家の皆さまへの情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料に将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうる場合があります。確約や保証を与えるものではありませんのでご了承ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する決定は、株主・投資家の皆さまのご判断において行われますようお願いいたします。



あなたの、いちばん近くにある安心